

講義名称	日本語教育B	担当教員名	森田 恵
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	日本語 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM182

授業のキーワード	日本語 文法
授業の概要	「日本語の文法」を日本語学習者の視点で考え、その特徴を知ります。表現の違いで受けとめ方がどう変わるか、言葉の使い方を考えます。
期待される学習成果 (目標)	1. 普段使っている日本語を文法的に見つめ直すことで、自分の表現力が向上します。 2. 言語を観察し、ルールや使い手の気持ちを考えることができます。 3. 相手にわかりやすく説明する力がつきます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	日本語文法とは	講義の概要。「文法」とは何かを考えます。
2	日本語の品詞	日本語の文のかたちと言葉が持つ文法的な性質を確認します。
3	名詞・形容詞	シンプルでわかりやすい表現を考えます。
4	動詞 1	動詞と助詞の組み合わせ、助詞による意味の違いを考えます。
5	動詞 2	動詞の活用について整理します。
6	日本語の文体	丁寧体と普通体について学びます。
7	可能を表す表現	できることを伝える / 中間確認テスト
8	自動詞と他動詞	「私がした？自然になった？」～自動詞・他動詞の使い分け
9	気持ちを表す表現	「するかも、するらしい、するだろう」～思っていることを伝える
10	時間を表す表現	「すること、したこと、していること」～日本語の時制
11	立場を表す表現	「された、させた、させられた」～立場による表現の違い
12	授受表現	「あげる」「もらう」「くれる」～物と行為の受け渡し
13	敬語	日本語の待遇表現について、特徴と使用場面を考えます。
14	グループワーク	学習した項目の説明方法をグループで考えます。
15	まとめ	講義全体の振り返り

定 期 試 験	中間確認テスト (選択式) 期末レポート
授 業 時 間 外 学 習	予習：次の講義テーマに関する質問を出すので、考えてきてください。(30分～1時間)
評 価 方 法	授業取り組み姿勢 40% 中間確認テスト 20% 期末レポート 40% テスト・レポートは採点し、返却します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	特になし 毎回レジュメを配布します。また、参考図書を必要に応じて紹介します。
参 考 文 献	「新・はじめての日本語教育 1 日本語教育の基礎知識 増補改訂版」 高見澤孟監修 アスク出版